

発言通告書（総括表）

令和4年第4回定例会 一般質問

No.	発言者	発言事項	発言要旨	答弁を 求める者
1	西岡議員 (自民)	<ul style="list-style-type: none"> ●障害・医療的ケア児を支えるご家庭へのサポート体制 ●子どもの安全対策 	<ul style="list-style-type: none"> ・乳幼児を対象とした障害・医療的支援を必要とする保護者のレスパイトケアと子どもショートステイ等について問う。 ・送迎バスでの子どもの置き去り防止対策について →来年より国の定める送迎バス安全装置の設置義務化による国の補助金制度、区の対応等を問う。 ・園児の公園置き去りや侵入者への対策 →その後の各園マニュアル見直し等。 ・学校指定用品の購入について →指定用品購入先は安全面にも考慮し、学校から遠方ではなく、近隣で購入可能な対応になっているか。 →将来DX化によりネット対応で購入指定店と連携・併用可能にする等、児童、生徒や、保護者等の利便性に適合し、購入し易い環境配慮になっているか問う。 	区 長 教 育 長 関 係 理 事 者
2	米田議員 (公明)	<p>子宮頸がん対策について</p> <p>2025年デフリンピック東京大会について</p>	<p>子宮頸がん予防で重要なのは、HPV ワクチン接種と前がん状態を発見するための検診とされています。</p> <p>現在、対象となる12歳以上の女性にワクチン接種と20歳以上の女性に2年に1度、子宮頸部の「細胞診」が行われています。</p> <p>そこで、本年4月から始まったワクチンの接種状況とこれまでの検診状況について伺う。また現状の課題についてと、今後の検診方法について提案する。</p> <p>聴覚障害者の国際スポーツ大会「デフリンピック」2025年夏季大会の東京大会が正式に決定した。</p> <p>本区としても、成功を後押しする取り組みが重要と考える。区としての見解を伺う。</p> <p>そこで、積極的に選手団に練習会場を提供することや、学校とも連携し、生徒や児童とアスリートの交流の場を設けてみては如何か。ご所見を伺う。</p>	区 長 教 育 長 関 係 理 事 者

発言通告書（総括表）

令和4年第4回定例会 一般質問

No.	発言者	発言事項	発言要旨	答弁を 求める者
3	河合議員 (自民)	令和4年6月に改正された「児童福祉法等の一部を改正する法律」また、令和6年の法改正に向けて開催した「第1回障害児通所支援に関する検討会」等を踏まえて本区の子育て世帯に対する包括的な支援体制の方向性を問う。	今回の「児童福祉法」改正は、子育て困難世帯が顕著化してきている状況等を踏まえて、包括的な支援体制強化等を目的として行われたものです。施行期日令和6年4月1日に向けて、本区支援体制の現状、施行に向けての課題は、本区にとってのより良い支援のあり方とは何か見解を問う。	区 長 教 育 長 関 係 理 事 者
4	秋谷議員 (至誠会)	スマートシティの推進について	①大丸有地域では、令和2年の大丸有スマートビジョン策定後、どのような実証事業が行われてきたか。その検証結果と実装への可能性。 ②当該地域の企業の技術の可能性を活かし、それを公的な価値とつなげることが必要と考えるが、今後、区としてどのように関わるのか。 ③大丸有地域だけでなく区全体のスマートシティの推進について、区長の認識を問う。	区 長 関 係 理 事 者
5	牛尾議員 (共産)	(1) 憲法26条の立場から千代田区の教育行政について質問する。 (2) 高齢者の住まいの支援について	①子育て世代への恒常的な支援と「義務教育は無償」の精神で学校給食の無償化を再度訴える。 ②障害があっても希望する学校に通えるよう対策を求める。 ①サ高住の建設など高齢者が安心して生活ができる住宅支援策を求める。	区 長 教 育 長 関 係 理 事 者
6	飯島議員 (共産)	1) 区内区有施設のトイレに生理用品設置を 2) 文化・芸術活動の発展のために	区有施設トイレに、トイレットペーパーと同様、生理用品の設置を求める 千代田区公会堂が廃止され15年が過ぎた。この間、区内の文化芸術サークルの活動や発表は様々な制約の中で行わざるを得なかった。「文化力」を高める拠点として、ホールのある公共施設を生活圏内に整備することの検討を求める	区 長 教 育 長 関 係 理 事 者

発言通告書（総括表）

令和4年第4回定例会 一般質問

No.	発言者	発言事項	発言要旨	答弁を 求める者
7	池田議員 (自民)	<ul style="list-style-type: none"> ・食品ロスを減らす取り組み ・ドッグランの設置について 	<ul style="list-style-type: none"> ・食品ロスを減らす取り組みが注目されてきている。本区では一般廃棄物処理基本計画の一部に明示されたばかりだが、環境モデル都市千代田として本区の特性を活かした区民、事業者、教育機関、行政それぞれの取り組みを明確に示した、千代田区食品ロス削減推進計画の策定について見解を求める。また、教育委員会として今後の環境教育の取り組みを伺う。 ・ドッグランの推進は区長の重点政策の一つに掲げている。民間との連携だけではなく、低未利用地、児童遊園などを活用した常設のドッグランの設置について見解を求める。 	区教育 関係者 長 理事者
8	林議員 (自民)	<p>健康寿命と予防接種</p> <p>区立公園の整備計画と類型化</p>	<p>任意の予防接種の費用助成の基準とは？ 帯状疱疹ワクチン接種の助成 HPV（9価）ワクチン接種の実施計画は？</p> <p>公園・児童遊園等整備方針の成果と課題 公園等の利用実態に関するアンケート調査の目的とその活用方法 公園整備の類型化と目標像 基本構想との分野別計画の関係とは？</p>	区教育 関係者 長 理事者
9	長谷川議員 (紡ぐ会)	<p>給食費の無償化</p> <p>安心生活見守り台帳の拡充</p> <p>開かれた区政のために</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・物価高騰による区民への影響は大きい。昨年度一般会計の歳入歳出残高は約22億円で、繰り越すべき財源を差し引いた実質収支は17億円余りであった。コロナ禍で実施できなかった事業の執行残を用いて給食費を無償とし、未来を担う子どもたちのために還元してはどうか。 ・安心生活見守り台帳の対象者の拡大。 ・緊急時、単身高齢者等が飼育するペットの一時保護等の対策。 ・区民参画推進のために、未来を作る若者の意見・要望を政策に反映し、区政に関心をもってもらえるよう、意見交換を行ってはどうか。 	区教育 関係者 長 理事者

発言通告書（総括表）

令和4年第4回定例会 一般質問

No.	発言者	発言事項	発言要旨	答弁を 求める者
10	小枝議員 (声)	<p>1、常盤橋御門・常磐橋の歴史の「見える化」</p> <p>2、首都直下地震への備え</p>	<p>1) 震災復興橋梁「常盤橋」の保存の成否。</p> <p>2) 外濠の中で最も保存状況の良い常盤橋門跡は、千代田区が誇る歴史的財産であり、江戸・明治から昭和に至るストーリー性も豊富。道路下にも枡形遺跡が出土し今後もビル建て替えに伴い出土する可能性は高い。子どもたちも学べる記念館等の検討はしているのか。</p> <p>3) 現在「由来説明板」さえもなく、渋沢栄一像の周辺は仮設の鉄板やがれきに囲われ、工事現場の様相である、早急に改善を。</p> <p>4) 「常磐橋」修復工事の際に出土した木製品(杭など)の保存について。</p> <p>5) 道路下の枡形門跡も含め、道路と公園を一体に整備し、大手門への導線を「見える化」するなど、ここを起点に江戸城と城下町を結ぶ、歴史まちづくりに着手すべきではないか。</p> <p>来年は関東大震災から100年。超高層化と過密化が進む都心においては、帰宅困難者など人が折り重なって倒れる「群衆雪崩」の危険が叫ばれている。減災のまちづくりに意を用いているか等について問う。</p>	区 長 関係 理事 者
11	小野議員 (都ファ)	<p>1、身近な人がお亡くなりになった時の窓口支援や対応について</p> <p>2、自転車駐輪場について</p>	<p>(1)身近な人が亡くなった後のご遺族の支援</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ご遺族は、相続のほか年金や保険等、さまざまな申請、届け出などがある。主に区へ申請・届出いただく分を、少しでも分りやすくスムーズに進められるよう「おくやみ窓口」として各種手続きのお手伝いやご案内をしてはいかがか。 <p>(2)故人のペットについて</p> <ul style="list-style-type: none"> ・故人が独居だった場合、ご遺族が故人のペットを引き取れない場合など、ペットが取り残される可能性について区の見解をうかがいたい。 <p>(1)駐輪場の不足</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域によって駐輪場が見つからずお困りの声がある。特に築年数の古いマンションは駐輪スペース自体が少ない傾向にあるが、区の認識はいかがか。 	区 長 関係 理事 者

発言通告書（総括表）

令和4年第4回定例会 一般質問

No.	発言者	発言事項	発言要旨	答弁を 求める者
12	岩田議員 (立民)	二番町地区の地区計画変更について 外神田一丁目南部地区の再開 発計画における都市計画法第 16条第1項・第2項の解釈に ついて	地区計画は住民の合意に基づいてそれぞれの地区の特性に応じてふさわしい街づくりをする ための計画であり、それを変更してまで行う開発はそれ相応の理由があるはずである。そこ で区の見解を問う。 現在、千代田区は国土交通省に正しい法の解釈の見解を求めているが、どこの部署の誰がど この部署の誰にどのように尋ね、どのような回答をもらい区は今後どのように対応するのか。	区 長 関係 理事 者
13	山田議員 (自民)	○地域コミュニティの醸成支 援施策について ○清洲橋通り整備計画につい て	<ul style="list-style-type: none"> ・ 町会を取り巻く現状認識 (区は課題を認識しているか) ・ マンション住人とのコミュニティ形成 (課題と対応策は) ・ 町会運営を担う人材育成に対する考え方 (人材不足を解消するための方策は) ・ 地域コミュニティ醸成支援施策の方向性 (どこに注力していくのか) <ul style="list-style-type: none"> ・ これまでの経緯を踏まえた庁内での検討状況 (進捗しているのか) ・ 隣接区である中央区・台東区との調整状況 (進捗しているのか) ・ 道路整備にあたっての課題 (懸念事項は何か) ・ 今後のスケジュール (大まかな見通し) ・ 整備計画の策定にあたっての考え方 (区の意気込み) 	区 長 関係 理事 者